

謹啓 秋冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年1月1日に発生した令和6年能登半島地震に際しまして、心温まる救援拠金をお寄せいただき、心から感謝申し上げます。

本県では、10月31日現在の被害状況によりますと、死者2名、住宅の被害が22,281件等となっております。震災直後には15,000人の方々が避難所に避難をされておりましたが、震災発生から10月余を過ぎ、日常を取り戻しつつあります。しかしながら、未だ県内各地で地震による爪痕が残り、特に液状化現象が発生した地域では住宅の再建の目途がたたない方々も多くいらっしゃいます。

また、本県と歴史的・文化的につながりの深い石川県奥能登地方の被害状況、被災地の方々の報に接するたびに心を痛めるとともに、本県に避難されている方々を含めて、官民あげての支援やこれまで以上の交流の必要性を痛感しているところです。

こうした中、本年6月と10月に開催した正・副会長会議において、当県老連の配分方針及び配分額を決定し、県内市町村老連に配分させていただきました。

皆様から寄せられたご厚志については、県内市町村老連において、被災会員や被災クラブ等の復興のための資金として、大切に、そして全国の仲間の応援を励みとして、老人クラブの再生、発展のために有意義に活用させていただく所存です。

このたびお寄せいただきましたご厚情に対し、富山県老連会員を代表して、略儀ながら本書をもってお礼申し上げますとともに、皆様のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

誠にありがとうございました。

令和6年11月8日

公益財団法人岡山県老人クラブ連合会会長 様

公益財団法人 富山県老人クラブ連合会

会長 麻 昌 裕 之

